

けど、どこが違うんですか？」

すごく良い質問だと思います。実は聖書も「高慢は破滅に先立つ」と言って、「奢れる者久しからず」と語っているんですが、仏教の場合は「奢れる者久しからず」がずーっと続くんですね。つまり、歴史に着地点がない。

だけど聖書は、「この諸行無常の最後に常なるものが来る。移り変わるものがずーっと続いて、最後に永遠に移り変わらないメシアの王国ができる。人類のゴールは移り変わる世界でぐるぐる輪廻するんじゃなくて、永遠に変わらない神の不滅と神性によって統治される世界が待っている」

その一番深いところまで、旧約の光の中で一番限界まで行く、というのが**ダニエル書 10章~12章**ですが、今日は、その実際の預言のところまではいきません。勿体ぶってるんじゃなくて、時間的なことでね。続きを生で聞きたい？ぜひ来てください。

では**10章**ですが、内容を最初にざっくり話します。預言者ダニエルが3週間/21日間、飲み食いせずに断食しています。その状態のダニエルを励ますために、天から御使い/天使が派遣されて、世の終わりまでの終末預言を授けます。

今日のポイントは5つです。

1. **なぜダニエルは21日間断食していたのか。**
2. **断食しているダニエルを励ましに来たのは天使なのか、受肉前のメシア/神の御子なのか。**
3. **ペルシアの国の君とは何か。** 聖書にはあまり出て来ないことばですが、御使いの世界を覗き見ることができる箇所です、今日のポイントです。
4. **ミカエルとは何者か。**
5. **人とは何者か。**

1. **なぜダニエルは21日間断食していたのか。**

ダニエル書 10章

1 ペルシアの王キュロスの第三年に、ベルテシャツアルと名づけられていたダニエルに、あることばが示された。そのことばは真実で、大きな戦いのことであった。彼はそのことばを理解し、その幻について悟った。

これが全体の序章となっています。大きな戦いは、人類最後の長い大きな終末決戦のことと考えていいでしょう。彼がこの戦いのことを知らされたのは、ペルシアの王キュロスの第三年。西暦でBC536年です。

- 2 **そのころ、私ダニエルは、三週間の喪に服していた。**

3 満三週間、ごちそうも食べず、肉もぶどう酒も口にせず、また身に油も塗らなかつた。

喪に服していた。身近な人が亡くなった時、一切の喜びや楽しみを遠ざけて悲しみに浸る期間。ダニエルはこの時84歳~85歳とされています。

84歳で3週間飲み食いしなかったら、やばくないですか。皆さんは塩分摂ってますか？この講演中にバタッて。これ怖いんで、ぜひ水分塩分摂ってください。

ダニエルは中東、ティグリス川のほとりで聞いてるんです。炎天下のすごいところですよ。21日間、ごちそう食べずに断食している。なぜなのか。

ユダヤの国はバビロンに滅ぼされ、ユダヤ人はみな連れ去られて、バビロニア地方に住んでいます。それから70年経ちました。

ペルシアの初代王のキュロスはその治世の第1年に、「長い間ご苦労だった。生まれ故郷に帰ってよ。エルサレムに戻って、神殿を造り直してオクケーです」とお触れを出したんです。

これはユダヤ人にとって、特に外国の地にいたダニエルには、「ついに神が預言通り約束を果たしてくださって、国のない民が国の基礎を造り始める第一歩だ！」と大いに喜んだはずですが、それから2年経ちました。

バビロン地方からエルサレムに帰っていいと言われた時、ユダヤ人たちは待ってましたとばかりに帰ったかという、いや、帰ったのは約5万人だけ。

ほとんどのユダヤ人は「あ、そう。帰る人は帰ってください」ということで、戻らなかったんです。

70年も外国にいて、生活基盤を持って、財産持って、成功者になっている。

それを全部手放して、一から国造りとか神殿建て直すとか、苦労するのが目に見えるんです。だから、「ついに神の約束が成就して、バビロン捕囚からの解放」とは聞いてるけど、行きたくなかったんです。

神のみことばが実現している。でも、それに反応できないユダヤ人の現状を見た時、ダニエルは心が塞ぐような思いになりました。

5万人の人たちはすぐに帰って行ったけど、神殿ができたのは23年後です。

実際に行ってみると、周囲の異邦人から横やりや妨害が入ったり、生活が苦しくて神殿造りなんか後回し。自分の生活の方が先だとマイホーム主義になっていたり。帰った人たちの行き詰まりの情報は、ペルシア帝国高官のダニエルの耳に逐一入るんです。目に前にいるユダヤ人たちは帰ろうとしない。帰った人たちは心が折れている。わが民ユダヤ人は、これからどうなるんだろう。

そう思った時、まるで、自分の肉親が死んでしまった時のような悲しみがこんこんと沸き上がってきて、「神よ、あなたが選んだ約束の民、あなたが祝福の器として選び出したユダヤ人たちを、どうかリバイバルしてください！助けてください！憐れんでください！」3週間、飲み食いできなかったんです。

これはどんなタイミングだったのか。

4 第一の月の二十四日（断食の21日目）に、私はティグリスという大きな川の岸にいた。

ユダヤ暦では、第一の月に非常に大きな行事があります。過越しの祭りですよ。第一の月の14日に羊を屠る。これが過越しの祭り。

翌日の15日から、15日を含めて1週間の21日までが種なしパンの祭り。
イスラエルにとって、14日から21日までは、過越しの祭りと種なしパンの祭りが1つになった、特別重要な祭りなんですね。
御使いの答えを聞くのは24日。24日から21日前は3日。
つまり、ダニエルは、第一の月の3日から24日までの21日間断食した。
ユダヤ人なのに過越しの食事を摂らず、過越しの祭りを欠席したんです。

ユダヤ人にとって、過越しの祭りは自由解放の祭り。エジプトの奴隷状態から解放されたことを祝い、自由人としてそれを記念する祭りです。異邦の地であって、もう一度過越しをしていただきたいという思いをかき立てる祭りなんですね。

でも、ダニエルはあえて過越しの食事に出ない。ユダヤ人の特権を神に献げて、ある意味、自分自身を追い詰めるようにして、「神よ、私はぶどう酒やごちそうだけではなく、あなたから頂いている祭りの祝福も全部断食します。なので、どうしても聞いていただきたい願ひがあります。どうぞ、このユダヤ人たちをリバイバルしてください！霊的覚醒・目覚めがあるように助けてください！」と、21日間祈りました。

2. 断食しているダニエルを励ましに来たのは天使なのか、受肉前のメシア／神の御子なのか。

そうして21日目の24日、彼を励ますために、ある人物がやって来るんです。

5 私は目を上げた。見ると、そこに一人の人がいて、亜麻布の衣をまとい、腰にウファズの金の帯を締めていた。

一人の人は人間ではなくて天使です。ある注解書では、これは旧約時代に現れた神の御子／受肉前の神の第2位格／御子なる神と言ってますが、そうではなくて御使いです。

この、人のように見えるものには7つの特徴があります。

①亜麻布の衣。これは大祭司の装束で、一番内側に着る服ですが、天使／御使いが人間の姿で現れる時、白い亜麻布の衣をまとっている。天使が人の姿で登場する時のコスチュームでもあるんです。つまり、ここでは聖さを表しています。

②腰にウファズの金の帯を締めていた。ウファズは地名らしい。ウファズで採れた金でできた帯を締めていた。ウファズを相当調べたんですが、分かりません。分からない時は、そっとしておくのがいいですよ。ここじゃないか、あそこじゃないかって、あんまり言わんほうがいい。

金の帯を締めている人間は、旧約新約全体で9人出て来ます。
最も決定的なのは、**パトモス島**でヨハネが見た栄光の姿のイエス・キリスト。
2人目は**ダニエル 10章**に出て来るこの人物。
あとの7人は**黙示録**に出て来る7人の御使い。彼らは一人ずつ鉢を持っています。

その鉢を地上にぶちまけるたびに、考えられない災害が来るんですね。

黙示録には7つの封印・7つのラッパ・7つの鉢の時代があります。

7つの鉢は、艱難時代のラスト1週間、あるいはラスト3日、ラスト1日、もう一番最後の時に、続けざまにぶちまけられる。すなわち、裁きにおいて非常に大きな権威が与えられている者たちが金の帯を締めています。

6 そのからだは緑柱石のようで、顔は稲妻のよう、目は燃えるたいまつのようにであった。また、腕と足は磨き上げた青銅のようで、彼の語る声は群衆の声のようであった。

③そのからだは緑柱石のよう。これにはいろんな意見があります。

天で、神の御座の最も近いところに仕えているのがケルブという御使いです。

ケルブの複数形はケルビム。ケルブは地上に下りて来たことが何回かあります。

そのうちの1回は**エゼキエル書**。ケルブの乗り物というか、ケルブの体というか、ケルブと一体になっている輪があって、その輪が緑柱石のように見えたと書いてあるんです。なので、緑柱石は神に一番近いところにいるケルビム、または4つの生き物が持っている特性。

④顔は稲妻のよう。稲妻は神の臨在が肉眼で分かるようなしるし／シエキナー。

いつも神を見ているので、天使の顔も神の臨在が反映されているような様相だったんですね。

⑤目は燃えるたいまつのように。これは何を連想しますか？

僕は星一徹（ほし いってつ）。昔「巨人の星」で、目の中に炎がメラメラというのがあったんですが、そうじゃなくて、本質を見抜く識別力が、神的なレベルにまで達していること。全ての嘘・偽りを見抜くような眼力があるということです。

⑥腕と足は磨き上げた青銅のよう。旧約聖書の中で、青銅は裁きに用いる器具の素材で、例えば、罪のためのいけにえを焼き尽くす祭壇は青銅できています。

つまり、腕と足が裁きに関わるような存在。この御使いは裁きを取り行う、非常に位の高い御使いなんです。

⑦彼の語る声は群衆の声のよう。黙示録に、天で大きな権威を持っている御使いが語る時、群衆が語るような轟のような声だったと出て来ます。

轟くは、遠くまで驚きを伝えるというのが縮まって“轟く”。“遠く”と“驚く”がくっついて“轟く”。車を3つ並べて“轟く”でしょ。車がひしめいた時の大きな音。遠くまで届くような音。彼の声は1人なのに群衆の声のよう。神的なんですね

はたして、これは御子／受肉前のイエスなのか、御使いなのか。これは御使いです。

16 ちょうどそのとき、人のような姿をした方が私の唇に降れた。それで私は口を開いて話し出し、私に向かって立っていた方に言った。「わが主よ。私はこの幻によって苦痛に襲われ、力を保てなくなりました。」

人のような姿をした方が、今7つの特徴を挙げた存在です。
わが主よ。主なら神じゃないの？この主は、ヘブライ語ではアドニー。
アドニーは神に使う言葉ではありません。神に対してはアドナイなんです。
アドニーは、例えば、サラがアブラハムを呼んで「ご主人」と言う時のご主人。
英語のサー/Sir です。〇〇様みたいな。
敬っていますが、神だとダニエルが自覚しているなら、アドニーではなくアドナイ
と言うはずなんです。アドナイを使っていないことで、ダニエル自身が、この人物
は神ではなく御使いだと見抜いているようです。
何よりも、全能ではないことが後で分かります。全能ではないから神ではない。

ガックリきているダニエルを励ますために、神は非常に位の高い御使いを送って
くださいました。その御使いを見た時、「私はこの幻によって苦痛に襲われ、力を保
てなくなりました」
幻だけでなく、その御使いの姿を見ただけでへ口へ口になるんです。なぜガツカリ
している84歳85歳のダニエルに、震え上がらせるような御使いを送られたのか。

この御使いでさえ、謙遜なダニエルを震え上がらせるような、偉大で厳粛な力を持
っているのなら、この御使いが畏れて崇めている創造主/神は、どれほど偉大で、
恐るべき力ある方か。その方があなたのことを覚えているよ、ということなんです。
3週間喪に服していたのは、ユダヤ人の現状が全く整えられていないから。
彼を励ますために遣わされたのは、特別な御使いでした。

3. ペルシアの国の君とは何か。

12 彼は私に言った。「恐れるな、ダニエル。あなたが心を定めて、悟りを得よう
とし、自分の神の前で自らを戒めようとしたその最初の日から、あなたのことばは
聞かれている。私が来たのは、あなたのことばのためだ。」

その最初の日から、つまり21日前に、あなたの唇から「神よ」という呼びかけが
立ち上った瞬間から、あなたのことばは神に聞かれている。
聞かれているのは祈った瞬間ですが、答えを得るのに21日間かかったんです。
なぜすぐに答えが来なかったのか。

13 ペルシアの国の君が二十一日間、私に対峙して立っていたが、そこに最高位の
君の一人ミカエルが私を助けに来てくれた。私がペルシアの王たちのところに残さ
れていたからだ。

これは難解です。あなたの祈りは、祈った瞬間に神の前に届いている。
私はすぐにその答えを持ってこようと思った。しかし21日間、私の前に立ちふさ
がって、あなたのところに行くのを邪魔する奴がいたんだ。
彼から逃れるために、最高位の君の一人ミカエルが私を助けに来てくれた。
ミカエルが私の代わりに戦ってくれているので、私はその現場を離れて、今来るこ
とができたのだ。

ここに4種類の御使いが出て来ます。

- ①ダニエルに話しかけている、7つの特徴を持つ御使い。ダニエルを励ますために、神から派遣されました。
- ②その御使いを邪魔する、ペルシアの国の君と言われる御使い。神から遣わされた御使いを邪魔するのだから、御使いは御使いでも墮天使。サタンの配下にいる御使い／悪霊。
- ③この悪い御使いの相手をしてくれた、最高位の君の一人ミカエル。ミカエルはイスラエルの国の君／イスラエルの守護天使。
- ④ペルシアの王たち／ペルシアの国の君の配下にいる、序列の低い悪霊たち。

ペルシアの国の君はヘブライ語でサール。最高位の君は、サールの複数形でサーリーム。ペルシアの王たちはメレクで、サールの配下にいて強力な力を持つ悪霊たち。

4. ミカエルとは何者か。

ミカエルは最高位の君の一人だと紹介されてます。最高位はトップですよ。トップは1人のはずなのに、最高位の君の一人だからトップが何人もいます。最高位の君は複数形のサーリームなので、厳密に翻訳すると「最高位の君たちの一人」トップなのに、なぜたくさんいるのか。

実はそれぞれの国に、それぞれの守護天使がいると思われるんですね。これは私のオリジナルではなく、フルクテンバウムさんのものを一生懸命翻訳して、受け売りで話しています。

それぞれの国家にはそれぞれの守護天使がいる。ただし、良い守護天使と悪い守護天使がいて、良い守護天使は、その国に祝福を与えるために、福音を伝えるために、平和を守るために神が配置している。悪い守護天使は、サタンの考えや計画が実現するために、その国の目に見えない背後で暗躍している。国際情勢にはいろんなことがあるが、目に見える国際情勢の背後に、良い守護天使およびその配下にある者たちと、悪い守護天使およびその配下にいる者たちの、目に見えないバトルが繰り広げられている。

20 すると彼は言った。「私がなぜあなたのところに来たか、知っているか。今、私はペルシアの君と戦うために帰って行く。私が去ると、見よ、ギリシアの君がやって来る。」

この御使いは、ダニエルに終末預言を伝えるために来たけど、急いでいる。早く行きたいんですよ。「真理の書に書いてある終末預言の中で、あなたが知ってもよい部分まであなたに伝える。でも、私は急いで行かなければならない。今、ミカエルが一人でペルシアの君と戦っている。そこに戻って、彼と一緒に戦わなければならぬからだ」

ペルシアの君はやがて退けられますが、見よ、ギリシアの君がやって来る。ペルシアの後に世界を制覇するのはギリシアですね。そのギリシアにも悪い守護天使がいるんです。それがギリシアの君。

21 しかし、真理の書に記されていることを、あなたに知らせよう。私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはいない。

真理の書は天にある書物です。私たちは聖書を持っていますが、その中に啓示されている真理は、人が知ってもよい部分だけです。

真理の全てが聖書に啓示されているのではなく、人が知るべき部分は全部、聖書の中にある。だから、聖書に書かれていない真理もあるんですね。

それは、天国に行ってからのお楽しみです。

私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはいない。

彼らは複数形ですね。文脈から判断すると、ペルシアの国の君とギリシアの国の君です。彼らに立ち向かって戦う者は、私とミカエルのほかにはいない。

ダニエル書 10 章

21 しかし、真理の書に記されていることを、あなたに知らせよう。私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者は、あなたがたの君ミカエルのほかにはいない。

ダニエル書 11 章

1 私はその彼（ミカエル）を強くし、かづけるために、メディア人ダレイオスの元年に立ち上がった。」

「私は 21 日間通せんぼされたが、今回はミカエルが助っ人で来てくれたので、彼に戦いを任せて、あなたのところに来ることができた。が、私が彼の助っ人になって、かづけたことがある。今回はミカエルが私を助けてくれたが、前は私がミカエルを助けたんだ」

メディア人ダレイオスの元年に立ち上がった。立ち上がったはスタンドアップではなくて突撃。これは軍事用語です。御使いの軍隊のトップが「突撃！」で戦った。メディア人ダレイオスの元年に何があったのか。バビロンが崩壊したんです。長い間ユダヤ人を苦しめていたバビロン。エルサレム神殿を炎上させたバビロン。偶像だらけのバビロン。

バビロンの崩壊は聖書の預言ですが、実は霊的な世界では、ミカエルとこの御使いが立ち上がることによって実現したんだと言ってるんです。

目に見える国際情勢の重大事件の背後に、目に見えない霊の世界の御使いのバトルがあって、その結果、ビックリすることが次々起こる。

今日のテーマは「覇権国家の背後にある見えない戦争」です。

この世の力関係だけで説明しても、どうにも説明できないことがありますよ。

だいたい、なんでプーチンがあんなウクライナに入るんですか。

理性で考えるなら、どう考えても損しかない。

でも、独裁者って、時々魔が差したようにバカなことをするんですね。

ヒトラーは西側に攻め込んだと思ったら、突然、独ソ不可侵条約を破ってソ連に攻

め込んだじゃないですか。何なんすか、あれ。もちろん、それぞれの理由を言いますが、もっと上策があるはずですよ。“魔が差す”の魔は“悪魔の魔”。不思議や。背後にある見えないバトルがあって、その反映の結果、目に見える国際情勢の激動がある。

「聖書預言の実現のために、死力を尽くして戦っている御使いたちがいるし、聖書に書いてあることは自動的にそうなるから、私たちは指をくわえて、ただ眺めてたらいいいんです」

そうじゃない。聖書預言の実現のために、神の側に立って戦う人たちが用いられ、その人たちは、神の力をだれよりも身近に経験することができるんです。

御使いたちが総力挙げて戦っている。その戦いのことをなぜダニエルに言ったのか。「ダニエルよ。あなたは85歳だけど、祈りによってこの霊の戦いの中に入って来てくれ」ということですよ。

蒸し暑い中、この木曜日の講演会をやっているのは、霊の戦いに勝つためです。

「選ばれている人は救われて、預言は全部実現するから、私はそれまで何もせんと世に流されます」って、そうじゃないんですよ。

これは、たとえとしてふさわしいか分かりませんが、この前、拉致問題の救う会の幹部の方とお話する機会がありました。北朝鮮に拉致されている日本人は900人くらい。なぜ拉致問題がこのようにクローズアップされたのか。その方の話です。

北朝鮮に拉致された人に有本さんという方がいます。当時はまだ、行方不明の人たちがいるが、生きていいのか死んだのか分からない。彼女の場合は、海外旅行で行方不明になって分からないということでしたが、なんと、北朝鮮でお父さんお母さん宛てに命懸けで書いた手紙が、巡り巡って両親の手に届いたんですよ。

「娘は生きてるんや！」北朝鮮に誘拐されたことが分かった。

当時は西宮に住んでおられました。西宮には社会党の土井たか子の事務所があって、社会党は北朝鮮とコンタクトがあるので、手紙を持参して「こんな手紙をもらいました。娘は北朝鮮で生きてるんです。娘を取り戻すために何とかしてください！」結論は「お気の毒ですねえ」と門前払い。

ご両親は必死の思いで上京して警視庁に行きました。「警視庁は国内の誘拐事件は解決するけど、外国のことについては手も足も出ません。無理です」と門前払い。外務省に行って、課長に来てもらって説明したら、「北朝鮮とは国交がなくてチャンネルがないから無理です」また門前払い。

そこで、二人は議員会館に行きました。扉が開いている事務所が1つだけあった。安倍晋太郎の事務所でした。安倍晋三のお父さんで外務大臣ですよ。外務大臣なら何とかしてくれるかと思って飛び込んだら、不在だったんです。安倍晋三は秘書官でしたが、彼も留守。ほかの秘書に事情を説明して帰りました。

戻った安倍晋三は「それが本当なら大変なことだ」と両親を呼び戻し、話しを聞いて、すぐに警視庁と外務省に連絡。

拉致問題解決に消極的な小泉純一郎の尻を叩いて、自分が訪問団の一員になって北朝鮮まで行き、盗聴されていることを分かった上で、それを逆手に取って、「返さないなら今すぐ帰る」

聞かれていることを前提に強気の発言をして、5人取り戻せたんです。

なぜ取り戻せたのか。「お気の毒に」という言葉だけじゃなく、動いたんですよ。行動したんです。発信したんです。

「ユダヤ人たちがリバイバルするために、元気になったらいいのにな」だけじゃなくて祈る。ダニエル書を書く。解説する。動く。宣べ伝える。やれること全部やる。私たちがこの働きをしているのは、御使いたちが「神のみこころなら実現するから、私たちは見てますわ」ではなく、総力を挙げて戦っているように、総力を挙げて神の戦いの中に入ることによって、神は必ず応えてくださると信じているからです。

21 **しかし、真理の書に記されていることを、あなたに知らせよう。私とともに奮い立って、彼らに立ち向かう者は、あなたがた（ユダヤ人）の君ミカエルのほかにはいない。**

ペルシアの墮天使の守護天使はペルシアの国の君。

イスラエルの国の君には名前が書いてあるんですよ。それがミカエル。

ペルシアの国の君が負けたらペルシアは滅びます。で、ギリシアが来る。

これをサタンと悪霊たちはものすごく嫌がってるんです。なぜそんなに嫌がるのか。おそらく、こういうことです。

聖書を見ると、今は異邦人の時代です。異邦人の時代の後に千年王国が来ます。異邦人の時代は、まずバビロンが世界制覇→バビロンが滅んだ後にメド・ペルシア→ペルシアの後はアレクサンドロス大王のギリシア。ここで4つに分かれます→4番目に第4の獣と呼ばれる国が出て来る。

第4の獣には5つの発達段階があります。

①ローマ帝国。ギリシアから出た4つのうち2つが残りますが、それを滅ぼしたのがローマです。

②ローマの第2段階は東西ローマ帝国。ダニエル2章に書いてありますが、ローマ帝国が2つに割れます。

③世界中が東西ローマの影響を受けますが、やがて（まだ来てませんよ）来るのは世界統一国家。世界統一政府。

④世界統一政府が10か国に分かれます。

⑤そのうち3か国が反キリストに滅ぼされ、7か国になる。その7か国の上に君臨するのが反キリスト。それは艱難時代のちょうど真ん中の時です。

ということは、反キリスト滅亡まで1260日のカウントダウンなんですよ。

その後は、悪魔と悪霊たちには滅亡しかない。どうするか。
ペルシアやギリシアの期間を少しでも延ばしたら、滅びを延長することができる。
パンパカパンパカ預言が進むと、自分たちの滅びがドドドッと近づいて来るんです。

なぜペルシアの君は、なんとかしてペルシアを保とうとするのか。

ギリシアの君はギリシアを保とうとするのか。

異邦人の時代をできるだけ長引かせることによって、自分たちの滅びを先延ばしすることができるからです。しかし、神のスケジュールとおりに、この世界は動いているんですね。

5. 人とは何者か

18すると、人のように見える方（7つの特徴を持つ御使い）が、再び私に触れてカづけてくれた。

19 その方は言った。「特別に愛されている人よ、恐れるな。安心せよ。強くあれ。強くあれ。」その方が私にそう言ったとき、私は奮い立って言った。「わが主よ、お話しください。あなたは私をカづけてくださいましたから。」

私たちは弱い者です。聖書で言う人間には2つのヘブライ語があります。

①アダム。アダムは個人の名前であり、人間という意味。また、土という意味なので、神の目には土のようにはかなくて弱い者。

②エノシュ。エノシュははかない者。弱い者。

皆さん、今日はどうですか？ガックリきてますか？力がみなぎってますか？

なんとなく…の感じがするんですよね。夏場で厳しいし。

私もヨーロッパに1か月行って、すぐ2週間講演旅行してね。

だれがこんなスケジュール組んだんや？俺や！みたいなの。全然改まらなくて途方に暮れてます。疲れた時に一番回復するのは睡眠です。どんな薬よりも睡眠。

同時に、神から特別に愛されていることを味わう時、力が出てきます。

どんな人にどんな励ましの言葉を言われるより、神から「特別に愛されている人よ。わたしはあなたが好きなんだ。あなたに夢を託しているよ。わたしはあなたを愛しているよ」それを味わっていくと、元気が出てきます。

「特別に愛されている人って、ダニエルみたいに忠実な生き方をしている人ならそうやろうけど、私は全然あきません。私は特別に憎まれてるんちゃうか。特別に軽んじられてるんちゃうか」

そう思ってしまいやすいけど、聖書ではそんなことはないんですよ。

皆さん、特別に愛されている人の範疇に入りたいと思いませんか。

第一テサロニケ 1 章

4 神に愛されている兄弟（クリスチャン）たち。私たちは、あなたがたが神に選ばれていることを知っています。

クリスチャンたちに「神に愛されているよ」と言っている。
ダニエルみたいにすごい預言書を書くとか、超有名な人たちではなく、名も無い一兄弟姉妹だけど、神に愛されていると断言してるんです。あなたがたが神に選ばれていることを知っているから。では、どのようにしたら神に選ばれるのか。

5 私たちの福音は、言葉だけでなく、力と聖霊と強い確信を伴って、あなたがたの間に届いたからです。

テサロニケの人たちは、福音を届けてもらった人たちです。

6 あなたがたも、多くの苦難の中で、聖霊による喜びをもってみことばを受け入れ、私たちに、そして主に倣う者になりました。

神に愛されている人とは、届いた福音を聖霊による喜びをもって受け入れた人全て。特別な働きをして、何か偉大なことを達成したから愛された。そうじゃない。神の福音を聖霊による喜びをもって受け入れた人はだれでも、神に愛されている人。神に選ばれている人。

喜びをもって受け入れるのは、私たちの側でできることではありませんか。その瞬間、神の前にこの上もない愛の対象として覚えられ、この終末時代、ダニエルのように、特別に愛された人としての取り扱いが始まると約束してくださってるんですね。

せひイエス・キリストを信じてください。福音を信じて、神に愛される人となってくださいますように、心からお勧めします。

☆*: .. 0 ...:*☆ ☆*: .. 0 ...:*☆ ☆*: .. 0 ...:*☆ ☆*: .. 0 ...:*☆ ☆*: .. 0 ...:*☆

引用文献；新日本聖書刊行会『聖書 新改訳 2017』いのちのことば社,2017